2X RAS 導入マニュアル

2015年7月

目次

1.	はじめに	
2.	2X RAS のインストール	3
З.	2X Secure Client Gateway	
4.	アプリケーションの公開設定	
5.	ロードバランスの設定	

1. はじめに

<u>2X RAS のシステム要件</u>

- **o** このマニュアルは 2X RAS v14.1 の導入をベースに記載しています。
- 本書は Microsoft Windows Server 2012 R2 をベースに記載しています。
- リモートデスクトップサービスが稼動している Microsoft Windows Server 2008 R2/2012 R2 が必要となります。
- **○** マイクロソフト規定のハードウェア要件が必要となります。

2. 2X RAS のインストール

2-1. 2X RAS のインストール

注意事項

インストールの準備を行う前に、リモートデスクトップサービスが稼動して いることをご確認ください。また、管理者制限でログインしていることと、 システム要件をご確認ください。

- ① 2X RASのセットアップファイルをダブルクリックしてインストールを実行します。
- インストールを実行すると、初期画面が表示されます。『次へ』をクリックします。



③ ライセンス契約にチェックを入れて『次へ』をクリックします。

	🤴 Parallels 2X Remote Application Serverのセットアップ 🗕 🗖 🗙
	エンドューザー向け使用許諾契約 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。
	Parallels End-User License Agreement
	This End-User License Agreement (this "Agreement") is a legal contract between you, as either an individual or an Entity (as defined below), and Parallels IP Holdings GmbH and its subsidiaries ("Paralles").
	READ THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT CAREFULLY BEFORE DOWNLOADING, INSTALLING, OBTANING A LICENSE KEY, OR OTHERWISE ACCESSING OR USING PARALLELS' PROPRIETARY SOFTWARE ACCOMPANED BY THIS AGREEMENT (the "SOFTWARE").
	THE SOFTWARE IS COPYRIGHTED AND IT IS LICENSED TO YOU UNDER THIS AGREEMENT, NOT SOLD TO YOU. BY DOWNLOADING, INSTALLING, OBTAINING A
() □ 5- センス契約に同意します(A) (2)
	印刷(P) 戻る(B) 次へ(N) キャンセル

④ カスタマーエクスペリエンスプログラムへ参加する場合は「はい、私はカスタマーエクスペリエンス向上のプログラムに参加して喜んでいます。(推奨)」を選択し、『次へ』をクリックします。

√ 2 .⊂	$1 \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I}$
	岁 Parallels 2X Remote Application Server 設定 🗾 👗
	Customer Experience Program
	Parallels カスタマエクスペリエンスブログラムは、Parallels ZX Remote Application Server の品質と信頼性の向上に役立てられます。
	同意すると、あなたの Parallels ZX Remote Application Server の使用状況に関 する情報が収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボードの入力内容など の個人情報録は収集されません。
	● はい、私はカスタマーエクスペリエンス向上プログラムに参加して喜んでいます。 (推奨)
	○ いいえ、私は参加したくありません。
	展る(B) 次へ(M) キャンセル

⑤ 2X RAS のインストール先の変更を行う場合は『ブラウズ』から選択します。
 インストール先の確認ができましたら『次へ』をクリックします。

🤴 Parallels 2X Remote Application Serverのセットアップ 💶 🗖	x
導入先フォルダー デフォルトフォルダーを導入する時は次へ、他はプラウスをクリックする。	
① Parallels 2X Remote Application Serverのインストール先:	
C:₩Program Files (x86)¥2X¥ApplicationServer¥ ブラウス	
2	
原る(6) 次へ(1) キャンセノ	,

⑥ 希望するインストレーションタイプを選択し、『次へ』をクリックします。

	ų,	Parallels 2X Remote Application Server 設定 🛛 🗕 🗖 🗙
	-	(ンストレーションタイブを選択してください。 希望するインストレーションタイプを選択してください。
1)	● Parallels 2X Remote Application Server Parallels 2X Remote Application Server のフルドウサージをインストールします。 Parallels 2X Remote Application Server(カージオトールします)、 から、アフリケーションとデスクトッズ発行性します。Parallels 2X Remote Application Server(Parallels 2X RPKを行って接続できます。利用できるのは、Windows, Linux, MAC,Android 及びIOS。
		○ カスタム Parallels 2X Remote Application Serverからインストールしたいエンボーネントを選択 して下おい、Parallels 2X RAS Console総理ログモートインストレーションを履用世来 ない場合は、このセクションを選択して、特定のエンボーネントをインストールして下さ い。
		反

⑦ 「重要な通知」の画面が表示されます。表示されたメッセージ内容を確認できましたら、『次へ』をクリックします。



⑧ 「インストールの準備ができました」という画面が表示されます。『導入』をクリックします。

B Parallels 2X Remote Application Server	のセットアップ 🗕 😐 🗙
のインストールの準備ができました	
導入ボタンをリックすると導入を始めます。導入の設定を確認 タンをクリックしてください。キャンセルボタンをグリックするとセット	2したり変更する場合は戻るボ アップウイザードを中断します
戻る(B)	導入(1) キャンセル

⑨ インストールを開始します。

Barallels 2X Remote Application	Serverのセットアップ ×
をインストールしています	
セットアップウィザードは Parallels 2X Remote Ap す。しばらくお待ちください。	plication Server をインストールしていま
状態: 	
Ī	実る(B) 次へ(N) キャンセル

 インストール完了後、「Parallels 2X Remote Application Server セットアッ プウィザードは完了しました」の画面が表示されます。「設定のユーティリティ を立ち上げる。」のチェックを付けたまま『完了』をクリックします。



- 2-2. ターミナルサーバーの追加手順
 - ターミナルサーバーを追加する場合は2XRAS管理画面のナビゲーションバー 内の「ターミナルサーバー」から右スペースに表示された「ターミナルサーバ ー」を選択し『+(プラス)ボタン』をクリックします。



 「サーバー追加」のポップアップが表示されます。サーバーの「IP アドレス」、 または、「サーバー名」を入力し『次』をクリックします。



「エージェント情報」のポップアップが表示されます。『インストール』をクリックしエージェントをインストールします。

) Ethn
サーバー:	192.168.11.4	2011
エージェント・	確認されませんでした	キャンセル
バージョン:	N/A	
ターミナルサービス:	N/A	
OSタイプ:	N/A	
2 ∓√φ2・ <u>Γ</u> −♡τ	小が反信しませんでした。エージャントをインストレーインフト	s=11.

 ④ 「2X Terminal Server Agent をインストールしています」のポップアップが 表示されインストールが開始されます。インストールが完了すると、『完了』ボ タンが表示されるので『完了』をクリックします。

2)	X Terminal Serve	er Agent をインストールしていま	ਰ <mark>? ×</mark>
サーバー			().71. J.M.
サーバー(5): 19	92.168.11.4		1721-110
<u>o</u> s:	indows (x32)	×	797211
SSHポート(<u>R</u>): [2]	2	デフォルト	
認証情報			
 認証情報の上非 	<u>まき(V)</u>		
ユーザー名(山): [
パスワード(<u>P</u>): [
7 = / 67			
ステイタス 道行			
サーバー	ステイタス	タイプ	
✓ 192.168.11.4	待機	ターミナルサーバー	

⑤ 「エージェント情報」のポップアップに戻りましたら『追加』をクリックしま す。

	エージェント 情報	? X
サーバー: エージェント: バージョン: ターミナルサービス: OSタイプ:	192.168.11.3 エージェントが確認されました 14.1 (build 3371) プロトコル バージョン 4 3389 ポートで有効化する. Microsoft Windows Server 2012 R2 (WOW 64)	追加 キャンセル
ステイタス: 2X ター	ミナルサーバー Ι−ジェントがインストールされて [アンインストール]

⑥ 以下の画面に戻ります。『適用』をクリックし、ターミナル サーバーの追加を 完了します。

三つ。 アップリケーションの追加 グノ	100 🗾 🗾		
サイト:WIN-MEAGBHB9	EPV 👻		administrator@2x14jp1
		AG <i>p</i> - z 7.1/7 - /- / // // // // // // // // // // //	 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

⑦ 更にサーバーを追加する場合は、ステップ「1-2.①」からステップ「1-2.⑤」 までを繰り返し行います。

注意事項

2X コンソール中で設定の変更や追加などを設定した場合、『適用』をクリックするまで変更や追加が適用されません。変更や追加が終了しましたら必ず 『適用』をクリックしてください。

ファームにサーバーの追加を行った場合、ロードバランスは自動的にファーム内サーバーのロードバランスを実行します。

2-3. サービス確認

2X RAS サービスが実行されているかを以下の手順で確認します。 [スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[サービス]をクリックし、

· 「2X Publishing Agent」

- · [2X Redundancy Service]
- · 「2X SecureClientGateway」
- · [2X Terminal Server Agent]

上記の 2X コンポーネントがインストールされているかを「サービス」 画面の 中で確認します。

インストールされていて「実行中」になっていない場合は右クリックで「開始」 をクリックします。

9.		サービス			-	D X
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)					
	è 🛛 🖬 🕨 🖉 🖬 🕹					
◎。 サービス (ローカル)	♀ サービス (ローカル)					
	項目を選択すると説明が表示されます。	2前 🔺	2088	小牛胡餅	フタートアップの種類	ログオン
		🖓 2X Publishing Agent	2X	実行中	自動	Local
		2X Redundancy Service	2X	実行中	自動	Local
		2X SecureClientGateway	2X	実行中	自動	Local
		🔍 2X Terminal Server Agent	2X	実行中	自動	Local
		Active Directory Domain	AD	宝行中	自動	Local
		🔍 Active Directory Web Se	<u>ະ</u> ທ	実行中	自動	Local
		🖓 App Readiness	<u>л</u>		手動	Local
		Application Experience	起動		手動 (トリガー開始)	Local
		🔍 Application Host Helper	IIS	実行中	自動	Local
		Application Identity	アプリ		手動(トリガー開始)	Local
		🥋 Application Information	追加	実行中	手動 (トリガー開始)	Local
		🔍 Application Layer Gatew	イン		手動	Local
		Application Management	グル		手動	Local
	il	AppY Doployment Convi	75		キー	Local

3. 2X Secure Client Gateway の設定

このページでは、2X Secure Client Gateway で使用するポートの設定をネットワ ークタブから行います。

環境によっては、デフォルトのポート番号(80番)が使用できない場合があります。 本書では、2X Secure Client Gateway ポートを8080番に設定しています。

- 2XRAS 管理画面のナビゲーションバーにある「ターミナルサーバー」を選択し、「ゲートウェイ」をクリックします。
- 「ゲートウェイ」タブに表示されている情報を右クリックし「プロパティ」を クリックすると「2X Secure Client Gateway プロパティ」のポップアップが 表示されます。
- ③ 「ネットワーク」タブを開き、使用可能な 2X Secure Client Gateway ポート番号を入力し『OK』をクリックします。

1 2X Secure	Client Gateway プロパティ ? ×
プロパティ I P アドレス ネットワーク SSL/	TLS HTML 5 Wyse 詳細 セキュリティ
2 2X Secure Client Gateway ポート	<u>(S):</u> 8080 デフォルト
<u>□</u> RDPポート*(<u>R</u>)	3389 デフォルト
* このポートがターミナルサーバーポート	と重複していないことを確認してください。
 ✓ 2X Secure Client GatewayのアドL ✓ RDP UDP データトンネリングを有効化 	ノンで配信する(<u>世)</u> (<u>リ</u>)
✓ クライアントマネージャポート(M):	20009
■ RDP DOSアタックフィルターを有効にする	ā(D)
	3
	OK ++>>ZIL /\LJ

注意事項

2X Secure Client Gateway ポート: このポート(デフォルト TCP: 80) は、2X のすべての情報をトンネルするために使用します。2X Secure Client Gateway ポートは、セキュアな接続(SSL)を同一のポート上でトンネル するためにも使用されます。

4. アプリケーションの公開設定

- 4-1. 2X RAS を使用し、アプリケーションを公開
 - 2X RAS 管理画面のナビゲーションバー内にある「パブリッシュ」を選択します。
 - ② アプリケーションの公開を行うには、画面上部の『アプリケーションの追加』 または、画面下部の『+追加』ボタンをクリックします。
 - ③ 本書では「+追加」を選択し公開する方法を説明します。



 ④ 「アイテムタイプの選択」のポップアップが表示されます。選択一覧から「ア プリケーションの追加」を選択し、『次へ』をクリックします。



⑤ 「アプリケーションタイプの選択」のポップアップが表示されます。一覧から
 「導入されたアプリケーション」を選択し『次へ』をクリックします。



⑥ 導入されたアプリケーションの一覧が表示されます。



⑦ 導入されたアプリケーションの一覧から公開したいアプリケーションのチェックボックスにチェックをつけます。最後に『完了』ボタンをクリックします。



⑧ パブリッシュ画面に戻ります。『適用』をクリックすることでアプリケーションの公開が行われます。

4-2. アプリケーション公開のヒント
 デスクトップやスタートメニューにあるアプリケーションをドラッグアンドロ
 ップする事によるアプリケーション公開も可能です。



5. ロードバランスの設定

2X ロードバランスを設定するには、2X 管理画面のナビゲーションバーの「ロード バランス」をクリックし、設定画面で設定を行います。

アップリケーションの追加 グル・	-ブの追加 デスクトップの追加 既存のアブリケーションの追加 ドキュメントの追加	administrator@Dv14in1
512hTLVQLV295-		

注意事項

ラウンドロビン方式:この方法では、2X ロードバランスは、サーバーのリソース に関係なく、2X RAS から決められた順番で利用可能なサーバーと接続します。

リソースペース方式:この方法では、2X ロードバランスは、ファームにおけるす べての2X RASの負荷情報を検索し、指定した条件に基づいて、接続する2X RAS を決定します。三つの異なる条件が利用可能です。

ユーザーセッション:セッションの数が最も少ないサーバーに接続します。
 メモリー:メモリーの使用率が最も少ないサーバーに接続します。
 CPU: CPU使用率が最も少ないサーバーに接続します。

複数の条件が設定されている場合、2X ロードバランスは該当条件の比率を計算し、 最も比率の良いサーバーに接続します。 特別なことが無い限り、すべての条件を選択することを推奨します。 注意:負荷分散を適用するすべての2X RAS にエージェントをインストールする 必要があります。

接続解除されたセッションを再接続する:エージェントは、同一のユーザーが切断前のセッションへの再接続を可能にするにはこのオプションを選択します。

ユーザーはデスクトップごとに1セッションと限定する:このオプションを選択 すると、アクティブセッションが1セッションに限定されるため、接続要求時に 再接続の確認表示が表示される場合があります。同一のユーザーによってセッショ ンを開始した際、既にそのユーザーがある2X RAS に接続している場合は、その ユーザーは同一セッションに接続されます。

注: デスクトップ毎にユーザーを一つのセッションに制限するには、 『各ユーザーを1セッションに制限します』の設定が、2X RAS サービス の構成設定ならびに接続ですべての2X RAS 上で設定されていることが 必要です。